

まくせのやしろ  
万九千社  
たちむしじんじや  
立虫神社  
社報

# 神戸の郷

第八六号 令和五年秋「発行」

令和五年九月吉日

代宮家 (錦田)

今季の祭

## 立虫神社

# 秋祭り

季節は早いもので実りの秋を迎えようとしています。

疫神の禍事もようやく衰退の兆しがみえつつあります。

今年も四年ぶりに、コロナ禍前の従来のあり方で、二日にわたる秋祭りを皆様共々心を込めてお仕えしたいと存じます。

この祭りは、稲をはじめとする農作物が豊かに収穫できたこと、農業をはじめ、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々の平和などを氏神さまに感謝し、これからお護りいただくようにお祈りするお祭りです。

氏子地域に住む全ての人々が心を合わせて奉仕する、一年で最も重要なお祭りで「大祭」と呼ばれます。

なお、神さまから見れば、縁あって、併川に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたでも遠慮なくお参りいただき、神さまに感謝と祈りを捧げましょう。

九月三十日(土)

## 一、長寿感謝 健康祈願祭

午後一時より

長寿を祝い、神さまに感謝して、これからの健康をお祈りします。

数え年七〇歳以上のどなたでも参列できますので、詳しくは別紙案内状をご覧のうえ、社務所へ直接お申し込み下さい。

お気軽にお詣り下さい。

## 一、子禱神事

## 一、氏子入り奉告祭

午後二時より

令和四年八月一日から今年の七月三十一日頃までに誕生された神立千家の子供さんとその家族が参拝し、新たな氏子として健やかな成長をお祈りします。

また、昨年の秋祭り以後、新たな氏子として登録された皆様にも昇殿いただき、御神前にその旨



を奉告し、末永い幸せを祈ります。

※当該の方は、平服(スーツネクタイ等)で時刻までに御参集下さい。

## 一、前夜祭

・深津一統祭 午後六時より

・竹内一統祭 午後七時より

立虫神社へ合祀された千家の客神社にゆかり深い氏子の竹内一統、古くから万九千社にゆかりある神立の深津一統が昇殿参拝します。一統挙げて感謝と祈りを捧げます。

十月一日(日)

## 一、大祭

# 秋祭奉祝 本殿祭

午前十時より

秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司はじめ神職・総代・神社委員ほか氏子の代表が昇殿し、厳かに御奉仕します。

御神前に海川山野のたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちを伝えるして人々の幸を祈ります。

※※氏子さんのお供え、米つなぎ当番の方は、午前七時半〜九時五十分頃までに神社へお供えし、御参拝下さい。

## 一、御神幸 と おねねり 神事

午後0時半より

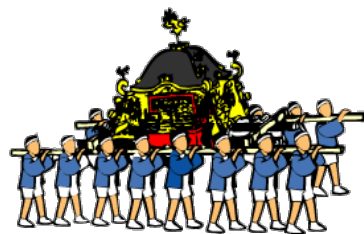
千家公民館にてお祭りの後、午後一時半前に御神輿を中心とする行列が出発。

途中で千家の客神社の元宮へ立ち寄って一同そろって拝礼します。

そして午後五時頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、神立千家の地にお

出ましになります。



皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。練り歩く行列の先導役は、悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る番内さん。幸多かれと御神酒をふるまう茶立姫。無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくり進む御獅子…。皆おなじみの顔触れです。

主役の氏神さまは、神和会、千親会をはじめ、小学一年生が心を込めておひきする御神輿ののって進みます。

夕方、神社へ到着すると、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになり、御獅子の拝が行われます。



## 一、神楽奉納

午後一時半頃より夕刻

◆午後一時半頃〜 出雲神楽

万九千社立虫神社神代神楽社

中※氏子小学生

有志の

子供神楽「剣舞」奉納も!!!

そして、出雲神楽が舞納められる

午後五時半頃には、お待ちかねの

## 「お餅撒き」

## 「神事華くばり」

となり、午後六時前には秋祭りは最高潮を迎える予定です。

お楽しみに!!!



◆午後四時頃〜 保育園の神楽

『すさのおの命のやまたのおろち退治』

あい川保育園社中



◆午後三時二〇分頃〜

『浦安の舞(うらやすのまい)』

神立千家氏子小学生女子有志

◆午後五時頃〜 出雲神楽舞納め

万九千社立虫神社神代神楽

『八戸(やと)』

須佐之男命の八岐大蛇退治

大切なお知らせ

## 今年の七五三詣

例年通り、十一月十五日(水)

午前十一時より御祈念します。ほかの日時を希望なさる方は事前にお申し出下さい。詳しくは別紙ご案内状をご覧ください。社務所までお申込み下さい。

《あとがき》▼神和会、千親会、浦安の舞や子供神楽を舞う小学生の子供達、あい川保育園の皆さん、当社の神楽保存会、氏子総代、神社委員長、そして全ての氏子の皆様の奉仕と真心で秋祭りはきつと成就します。▼私たち、誰もが支え合って生きているのだよなあ。▼感謝です。(文責 宮司錦田剛志)

